

今号の主な記事

- 平成17年度予算案まとまる.....2面
- 西宮市震災融資の借換え融資制度...2面
- 特別障害給付金制度について.....2面
- 固定資産課税台帳の縦覧.....3面
- 「西宮さくら祭」イベント参加者募集...6面



行政方針を述べる山田市長

山田 知市長 平成17年度 行政方針を表明

山田 知市長は、3月定例会市議会の初日に平成17年度行政方針を表明、「これまでの4年間にわたり進めてきたまちづくりをさらに充実発展させるため、「愛と希望のまちづくり」を基本理念に、個性豊かな文教住宅都市・西宮の実現に向け、6つの視点を中心に市政を推進してまいります」と述べました。

また、尾崎八郎教育委員長も、教育委員会行政方針で「文教住宅都市西宮の教育をより一層発展させ、「夢はぐくむ教育のまち西宮」の実現に向けて全力で取り組みます」と述べました。

市民と共に愛と希望のまちづくりを実現

6つの視点で取り組むまちづくり

市民と手を携えて進めるまちづくり

まちづくりの主役である市民の皆さんの声を積極的に聞き、共にまちづくりを推進します。

「参画と協働のまちづくり基本条例」の制定に向けて準備作業に着手
市政ニュース配布方法を新聞折込から戸別配布に変更

安心して暮らせる心かようまちづくり

子どもの笑顔が輝く、だれもが安心して楽しく暮らせる、心かようまちづくりを進めます。

子育て支援や公共施設のバリアフリー化の推進
市民生活の安全・安心の確保

文化をはぐくみ人がふれあうまちづくり

文化活動や地域活動が活発に展開され、人々が生きがいをもって、はつらつと輝くまちの実現をめざします。

県立芸術文化センター周辺の修景づくり
スポーツの振興、地域活動に必要な施設の整備など

持続可能な安全で快適なまちづくり

山・川・海の恵まれた自然環境と調和した安全で快適なまちづくりを進めます。

環境学習都市の推進
公園・道路・河川の整備や防災対策など

産業が栄え地域がにぎわうまちづくり

まちの活性化と、西宮のまちの特性にあわせた産業の育成と振興をめざします。

酒蔵地帯の修景づくり、都市型観光の推進
異業種間交流など

公共サービスの充実したまちづくり

市民の皆さんが身近に利用する窓口サービスの利便性を高め、引き続きワンストップサービスの充実を図ります。

双方向の情報ネットワークの強化
公用・公共施設の整備など

行政経営改革の推進

限られた経営資源でより効率的・効果的な行政サービスを提供するために、行政運営の様々な仕組みや体制を革新するとともに、職員の意識改革に徹底して取り組み、分権時代にふさわしい市民満足度の高い行政運営を行います。

行財政改善による財政の健全化

赤字再建団体への転落が心配されるなか、財政の健全化に向け、「第3次西宮市行財政改善実施計画」に基づいた人件費の見直しや内部管理経費の削減などを行い、平成20年度までの財源不足の解消に全力を挙げて取り組みます。

平成17年度の主な事業・施策は次号で紹介します

尾崎八郎教育委員長



教育委員会行政方針

人間尊重教育など5つの柱

人間尊重教育

平和と地球環境を守り、自他の生命と人権・人格を尊重し合う教育を推進します。子どもたちを虐待や不審者等から守るために、家庭や地域と協力して、安全で安心なまちづくり・学校づくりを推進します。

個性を育てる学校教育

子どもたちの基礎学力と学習意欲の向上を図り、豊かな心、健やかな体の育成に努めます。放課後に学習指導・相談を行う「チャレンジサポーター」を配置

学習段階に応じた認定証を交付する「漢字・計算認定制度」をスタート

家庭・地域と共に子どもを育てる教育

家庭の子育てを支援するための環境づくりに努め、子どもたちが生活の大半を過ごす家庭・地域と共に子どもを育てる教育を推進します。子ども向け文化的講座「宮水ジュニア」事業の拡充など

学習活動の盛んなまちづくり

市民に芸術・文化・スポーツなど多様な学習の機会や場が提供される、学習活動の盛んなまちづくりを推進します。生涯学習大学「宮水学園」にマスターコースを新設

教育環境の整備

安全で利用しやすい教育環境を整えるため、バリアフリー化を進めるなどの施設整備や環境の美化に努めます。津門小学校の西校舎を改築
上甲子園公民館学文公民館で大規模改修を実施

